

# 【経営ニュース】

## 会計参与の導入状況 税理士アンケート

中小企業庁は、「会計処理・財務情報開示に関する中小企業経営者の意識アンケート」の中で、「会計参与制度」の導入状況も併せて調査している。まず経営者に対しての調査結果として、「既に導入・今度予定している」が併せて5.5%、「周囲の状況を見て考える」は18.7%であった。設置した(予定含む)理由としては、「金融機関や取引先企業からの信用を上げたい」が46.7%であり、「税理士等からの要望」も31.7%の回答があった。導入を考えていない理由としては、「現在に問題ない」が62.7%と最も多く、次いで「設置による効果が予想しにくい」が38.6%となっている。また、税理士に対するアンケート(176件)では、「既に就任」が5.7%、「今後就任予定」が6.3%、「相談・依頼があれば就任」30.1%となり、その他の就任しないグループは57.9%であった。就任しない理由としては、「リスクが大きすぎる」が圧倒的で71.1%、他に「報酬が十分に得られない」35.8%、「権限や責任の範囲が不明確」28.3%、「中小企業のディスクロージャが不十分」28.3%等となっている。逆に就任した(今後含む)理由は、「従来からの顧問で会計の透明性が確保されている」50.0%、「顧客からの強い要請」28.4%、「経営者の協力が得られる」23.0%等であった。

---

---